

相談員日記

檜葉町 住民福祉課 保健師

檜葉町食生活改善推進委員会

檜葉町住民福祉課に在籍している保健師の方と、民生委員としても活動をしている檜葉町食生活改善推進委員会の方にお話を伺いました。

檜葉町は今年の9月で避難指示の解除から5年が経ち、町内居住率は6割程度まで戻っていますが、作業員の方など、檜葉町に住民票を持たない方もいらっしゃるため、帰町した住民の世帯数はそこまで増えていません。また、元々一緒に暮らしていた世帯でも、親の世代のみが帰町し、若い世代は避難先に留まるという事例もあり、現在は高齢者のみで生活をしている世帯も少なくないです。

食生活改善推進委員会では住民福祉課や地域包括支援センターと協力してサロン等を開催しています。住民同士がコミュニケーションを図る良い機会になるので、民生委員として戸別訪問をする際にお声がけをするなど、より多くの方に参加していただけるように努めています。地域の皆さんが顔を合わせて話すことで、お互いの近況を知ったり、安否確認をしたりすることもできます。住民の方の中には地区の行事やサロン等に参加することに消極的な方もおりますが、そうした方々に今後参加したいと思ってもらえるようにどのようにアプローチをするか考えていくことが課題です。

サロン等では食事をしながら会話をするだけでなく、専門家を招いて放射線や食の安全について学び、意見交換をする機会を設けています。このような取り組みはこれからも継続して行っていく予定です。サロン等の開催中、食生活改善推進委員会のスタッフは調理場に立っていることが多かったのですが、今後は住民の方と一緒に放射線について学ぶことも大切だと考えています。まもなく東日本大震災の発生から10年が経ちますが、子ども向けの食育等、今後新たに取り組んでいきたいこともあるので、実現するために何が必要か考え、工夫しながら活動をしていきたいと思っております。

